

総評

記述問題を白答にしている答案も見られたが、解答欄をなんとか埋めようと努力している様子がかうかがえる答案が多かった。時間制限の厳しい模試ではなかなか納得のいく解答を作り上げることは難しいので、復習する際には、時間を気にせずに丁寧に解答を作ってみることが大切だ。古文・漢文は全訳や書き下しを自分で作り、内容を理解したうえで、再度問題に取り組むとよい。

問題別講評・採点基準

一

一 熟語は、一字でも誤りを含んでいたら不可。全問正解できている答案は少なく、特に「卑近」を誤るものが目立った。しっかりと復習しておこう。

二 「採点基準」

「人文学的研究は、a文化や社会の抱える公的な問題 bとも関係づけて人間を広く捉えるべきものなのに、c研究者の私的な好奇心に発し、dその好奇心を満たせば十分なものだ」と見なされてしまうというところを押さええて 14点

* a c部各5点、b d部各2点。

〈人文学的研究は公的であるべき〉〈研究者の私的

な好奇心にとどまってしまう〉という大枠は押さえられているものが多かった。「人文学的研究が、個人的な嗜好の問題に還元されてしまう」という傍線部の構造を意識して、「研究者の私的な関心から発し、その枠内にとどまるものとなってしまう」という形でまとめることができているかどうかで差がついた。

三 誤答では「それと同様」が目立った。これは筆者の考える学問のあるべき姿を述べた箇所であり、設問で問われている〈学問の世界で勝負する専門的研究のあり方〉とは異なる。「そもそも」を抜き出すものもあつたが、この箇所は具体的な説明としては不十分。解説を読み、考え方を押さえおこう。

四 誤答で目立ったのは才。問題文を通して筆者が問題意識を抱いているのは、〈人文学における専門的研究〉が〈研究者の私的な好奇心のために行われてしまう〉点であり、研究の結果ではなく出発点||目的に対してであることを押さえよう。

五 「採点基準」

「a社会を支える価値を b疑い、問い直し、新たに創造することを目的とする学問として人文学を捉えれば、cその「価値」の問題も、d研究者が私的な関心事から脱却しない限り探究できない(c)公的なものとして位置づけられる」という点を押さええて 16点

* a d部各3点、b部6点、c部4点。

傍線部の前から、「価値」を問い、観察し、分析

し、批判し、創造していく」「研究の『プライベート化』』といったキーワードに着目できている答案が多かった。さらに得点を伸ばすためには、設問の問いかけに対応する文構造になるように解答を組み立てる必要がある。解説をよく読んで復習しておこう。

六 誤答はさまざまな選択肢に分散した。「適切でないもの」を選ぶ点に注意し、丁寧に各選択肢を検討しよう。

二

一 a「見切り発車」はよくできていた。

b「水をさし」はウ「受け入れようとせずに拒絶し」・エ「客観的な意見を述べて混乱させ」を選んだ人が若干いた。漢字では「水を差す」と表記し、「水を入れる・水を掛ける」が原義。つまり〈ちようどいいところに余計なものを入れて、だいなしにする〉イメージである。エは多少紛らわしいが、「客観的な意見」にはマイナスのイメージが乏しく、不適切。

c「浅ましい」は、エ「近視眼的で、思慮が足りない」を選んだ人が多かった。傍線部を含む一文の冒頭にある「それ」は、直前の文の「彼が私と同じ場所にいるという思い」を指す。これは、「自分の能力の境界線を勝手に引き、あっさり」と(画家になる夢を)諦めてしまった「私」の、「嫉妬心にも似た、一種の羨望から来る感情によるもの」と考えられ、傍線部に続く激しい「自己嫌悪」の吐露(特に「私はどこかで彼の挫折を願っていたのか」の一文)か

らも、単に「思慮の足りなさを悔いている」のではなく、自分の下劣さに対する自責の念と考えたほうがよい。

二 「採点基準」

「a 彼が」 b 「一般的な男性よりも」 c 急激に、d 父親になるのだという自覚を c 自分の中に目覚めさせていったということ」を押さえて—— 10 点

* a 部 1 点、b、d 部各 3 点。

全体的によくできていたが、主語の「彼」に当たる言葉がないなど、説明としてのまとまりを欠く答案も多い。また、「意識の上昇カーブが大きい」を「自覚が強い」といった表現で説明した答案も散見されるが、「女性は『瞬間的』との対比からも、ここは〈強さ〉ではなく〈速さ〉のことをいっている。

三 イオと答えた人が少数おり、確かに微妙な選択肢が並んでいるが、「明らかに含まれない」と断定できる選択肢は、ウ「彼が『私』と子供を選んだことを後悔して、いつかその気持ち爆発するのではないかと不安」だけである。

四 「採点基準」

「a 彼は、二つのことを並行してできる性質ではなかった」ので、b 講師をしながら絵の制作を続けることは諦めて、c 講師の仕事だけに集中する状況になった」を押さえて—— 12 点

* a 部 4 点、b 部 6 点、c 部 2 点。

方向としては正しい答案が多いが、「慣用句の意味

を踏まえて」という条件が難しかったのか、まとまりの悪い説明をしている答案が多い。慣用句の説明をしながら、そこにこの文脈における意味を含ませることを考えれば、説明しやすかったはず。

五 一の c 「浅ましい考え」と連動した心情を問う設問だったが、こちらはよくできていた。イ・エの誤答も少数散見されるが、そこまでの内容は本文から読み取れない。

六 オはほとんどの人が正解できていたが、エの代わりアを選択した人が若干いる。前向きになったり後ろ向きになったり繰り返す「私」の揺れる心情を、逆接の多用によって表現していることを読み取りたい。また、エの「あらゆる色」には、「希望」の色も含まれていることを見逃さないように。

表現に関する問題は、選択肢の内容と本文の内容を比較することが意外と難しい。選択肢のどの部分が不適切なのかを確実に見抜けるように、十分な練習を積んでほしい。

三

一 a 誤答はカ「尊敬の助動詞」が多かったが、尊敬の「る」は未然形に接続するので、その場合は「たまは・れば」となる。

b 誤答はイ「完了の助動詞」エ「受身の助動詞」に割れた。ラ行下一段活用動詞の活用語尾「るる」の形を覚えておこう。

c 誤答は予想通りオ「使役の助動詞」に集中したが、「使役」とすると〈私に〉わからせてくださいとなり、意味が通らない。

d 誤答はク「形容詞の一部」が多く、キ「動詞の一部」も散見されたが、「はべりな」は「はべり+な」の二語である。形容詞や動詞の活用表からもう一度復習してほしい。

二 x 比較的よくできていた。誤答はウに集中したが、「できなさらない」という敬語に当たる部分が傍線部にはない。なお、「言ひ尽くす」は〈全部言う・最後まで言う〉の意。

y こちらは難しかったようで、誤答がイオオに分散した。確かに紛らわしいが、〈平安貴族の姫君はたいてい女房たちと生活している〉という古典常識を覚えておきたい。

三 「採点基準」

「a 狭衣中将の、b 『伊勢物語』の中で妹に恋心を抱いた人物と同様に、c 妹同然の源氏の宮を恋慕っている心情」を押さえて—— 10 点

* a 部 2 点、b c 部各 4 点。

「昔の跡」を〈旧跡〉のようにとらえた人が散見されるが、実際の〈場所〉のことではなく、昔の物語の〈内容〉のことという。また、ここは「説明」問題なのに、口語訳をした人がいる。設問の指示は注意して読んでほしい。

四 「掛詞」「縁語」の意味を知らない人が多かった

ようで、Aを正しく押さえられた人は半数程度、B Cを二つとも押さえられた人は三割程度。設問にある説明文の「……の○と△は掛詞、※と*は縁語」という説明形式を覚えておくと、今後同じような出題がされた場合に対応しやすい。

五 「採点基準」

「a急に bあなたが私によそよそしくなるのは、 cかえって d周りの者には e不審に d見えま ず fでしょう」と口語訳して——10点
* a d e 部各1点、b 部3点、c f 部各2点。

こちらは「口語訳」問題だが、説明している人がいる。また、空欄のままの解答も目立つ。確かに難しい問題だが、状況がよくわからない場合でも、傍線部の単語を丁寧に現代語に置き換えて書いておけば、何点か部分点をもらえることもあるので、最後まで諦めずに解答してほしい。

六 誤答はイに集中した。ここは主語が省略されたまま人物の行動が次々と入れ替わって書かれているためわかりにくいが一貫して、泣いているのは「狭衣」で、怯えているのが「源氏の宮」である。

四

一 完答できているものは少なかった。特にc・dの「自」の読み分けは難しかっただろう。文脈を踏まえて最適な読みが選べるように、解説をよく読んで復習しよう。

二 「採点基準」

「a将に別れんとして b之に謂ひて曰はく」と書き下して——5点
* a 部3点、b 部2点。

「将別二謂之曰」で切れ目がある文構造であることを読み取れなかったものが目立った。また、再読文字「将に……んとす」を正しく読めていないものも見受けられた。基本事項なのでしっかり押さえておいてほしい。

三 「採点基準」

「a重ねて b身に余る厚遇をいただいている c ならば d他人にねたまれる eことになろう」と訳して——9点
* a c e 部各1点、b d 部各3点。

「為人所嫉」を「人に嫉妬される」と受身でとらえることはできている答案が多かったが、「叨扱過分の訳出は難しかったようだ。国司に任命された弟に兄が問いかけている言葉であることを踏まえて、「過分」の内容をとらえたい。

四 「採点基準」

「a他人の悪意ある行為を受けたときに、b何も言わずにそれを処理するだけだと、cかえって相手の感情を逆なでし、d相手の悪意を増幅させてしまうおそれがあるから」を押さえて——12点
* a b c d 部各3点。

* 「他人に唾を吐きかけられる」という具体例に沿

って説明したものも可。

難度の高い設問だったが、自分なりに解答欄を埋めようと努力している答案が多く見られた。問題文に書かれていない内容まで作って付け加えてしまっているものも見受けられたが、まずは直前の「弟の返答」の内容を押さえることを意識して解答を作成しよう。

五 誤答は分散したが、イ・オが目立った。選択肢はいずれももつともらしく、難度が高かったと思われるが、「人の恨みを買うようなことをしない」(無為自然の態度でものごとを受け流す)という師徳の態度は、「先人の髪膚を全うする」ための手段に過ぎないことを押さえよう。